

平成29年度 事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 9 日

事務事業名	女性学級運営事業		事業区分		担当	
政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	030202000633
総合計画の施策名			単独/補助	単独	所属課	090601
政策名	03	生涯学習・芸術文化活動の推進	主要事業	対象外	生涯学習課	
政策名	03	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり	市長マニフェスト	対象外		
施策名	02	生涯学習・芸術文化活動の推進	未来PJ事業	対象外	グループ	生涯学習G
基本事業名	02	生涯学習及び芸術文化活動の促進	合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細
01	10	05	06	01	00	生涯学習推進事業
法令根拠			単年度繰返し (年度~)			
			→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<学級のねらい> 地域女性がもつ生活上の課題など幅広く学習し、より良い家庭、地域、社会づくりに寄与するとともに、女性リーダーを育成していくものとする。 <学習内容> ■地域女性の地位向上のための学習会に関すること ■男女共同参画社会に関すること ■情報交換に関すること ■その他本学級のねらいを達成するために必要なこと <学級の組織> 学級生・・・市内在住の女性(希望者) <費用> 一般会計 会費	○会員による年間計画の打合せ ○研修会資料作成 ○研修会に伴う市バス使用申請及び同行 ○女性学級運営委員会の開催(学級長+運営委員)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
女性学級開設の補助	学習会・研修会の開催回数	回	5.00	6.00	6.00	6.00	6.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市内在住の女性	市内在住女性	人	21,753.00	21,324.00	21,000.00	18,000.00	15,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
女性を取り巻く社会問題について考え、男女共同参画推進を図る	学習会・研修会延べ参加人数	人	169.00	197.00	200.00	210.00	220.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

			27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入 量	事業 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	18	20	58	58	58
	事業費計(A)		千円	18	20	58	58	58
量	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
	述べ業務時間	時間	34.30	7.45	30.00	30.00	30.00	
	人件費計(B)	千円	100	22	87	87	89	
トータルコスト(A)+(B)		千円	118	42	145	145	147	

28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
08 報償費	20		08 報償費	38	
			09 旅費	2	
			11 需用費	3	
			14 使用料及び賃借料	15	
合 計			合 計		
20			58		

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 →		

事務事業名	女性学級運営事業	事務事業No.	30202000633	所属課	生涯学習課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ○女性の知識・教養向上と社会参加の促進、また仲間づくりと生きがいくりの推進を高めるなどの趣旨のもと発足した。 ○学級生の主体性を高めるため、女性学級運営委員(平成26年度導入)を開催し、役割分担、担当制を導入して研修会の開催を行うよう進めている。 ○平成28年度より一般会計での事務処理を行っている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ○学級生主体の学級運営を推進したところ、カラーコーディネイトや紅茶の入れ方の学習など、女性としての気品や美しさを高めるような学習内容となり、非常によい学級運営ができています。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
改革改善を行う 広報紙やホームページなどを有効に活用し、市内全域の、さまざまな年代の女性に周知できるようにPR方法を検討する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 女性を取り巻く環境や、女性が担うべき役割等を考えることで男女共同参画の推進につながると考えられる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 女性の社会進出と地位向上のためには必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 学級生主体の学級運営がさらに活発になると、より有意義な事業になる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 仲間づくりの意識の低下を招き、地域への連帯意識がなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 男女共同推進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 男女共同推進事業との連携・統合が可能である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 会員より会費を徴収しており、公費の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に則り、会員より会費を徴収している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 今年度より学級名を一新し、「女性の輝き・楽しみ学級」とし、大きく改革が図られた一年であった。学級生の顔ぶれや内容も大きく変わり、参加者からは大きな反響をいただいた。会員の募集方法に関して改善の余地があると感じるので、来年度の懸案事項とした。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市民からはPR不足を指摘されたので、来年度は広報紙やホームページ、SNSなどを有効に活用しながら、様々な年代の女性に周知ができるようにしたい。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---